

YOUNG BLOOD

「つながろう! 「仲間」と!」

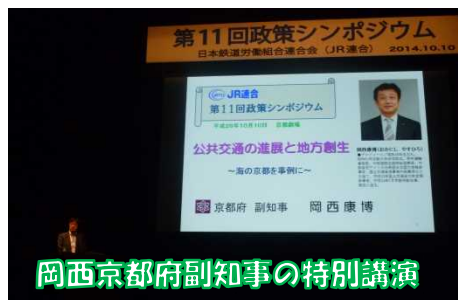
JR連合 青年・女性委員会 事務長 平賀 大介

第11回政策シンポジウム参加

テーマ

「地域を元気に! 鉄道をはじめとした公共交通の役割を認識しよう!」
～今こそ「チーム公共交通」の形成を!～

平成26年10月10日(金)京都市「京都劇場」にて第11回政策シンポジウムが開催されました。シンポジウムには、加盟単組から、約600人の組合員が参集し、地域と公共交通が抱える問題点、その中で、JR連合の現状認識とテーマに対する課題・提言について、討論・認識の一致が図られました。冒頭、主催者代表として松岡会長から「産別にとって産業政策は要であることに変わりはなく、この間もJR連合は政策活動を運動の中心軸に据えて全力で取り組んできた。今後日本は本格的な人口減少局面を迎える。そうした中でも私たち交通運輸産業の明るい将来展望を持ち続けられるよう、本シンポジウムを皮切りとして政策を練り上げていこう」とあいさつがあり、今後の方向性と政策活動の重要性を改めて実感することができました。



第1部では、京都府の岡西副知事から「公共交通の進展と地方創生～海の京都を事例に～」をテーマに特別講演をいただき、第2部では、「異なる交通モード～事業者を越えた連携の強化～」としてJR北労組、貨物鉄産労、JR西労組よりこれまでの取り組みと今後の課題について発表がありました。青年・女性委員会が近い将来、基本組織となり、活動を推進していくにあたって、現状の課題認識を共有することができたほか、これらの

課題に対してどのような政策を提言していくべきなのか見識を深めることができました。また、第3部では、小川淳也衆議院議員(JR連合国会議員懇談会事務局長)をコーディネーター役として、パネルディスカッションが行われました。JR連合の尾形政策部長がパネラーとして参加され、井上豊岡市都市整備部長、森JR九州営業部長、竹内東京女子大教授を交え、地域活性化と公共交通の役割について議論されました。私たち、青年・女性委員会も政策提言解決に向けて、今後の取り組みに、引き続き、積極的に携わるとともに、青年女性役員研修会や幹事学習会などの機会を通じて、より見識を深め、広く共有していきます。



※第11回政策シンポジウムの開催内容は、JR連合の機関紙第482号にも掲載されています!

ホームページでも閲覧できますので、ぜひご覧ください♪